※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和５年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	Mousa2　（教育芸術社）						
副教材等	Music　Navigation　（教育出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽を聴くこと」の３つの分野を年間通して学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、クラスメートとともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、音楽文化についての理解を深め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばす。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽の文化的・歴史的背景などの関り及び音楽の多様性について理解している。（知識） 創意工夫を生かした表現をするために必要な歌唱、楽器、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知り、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聞いている。	音楽や音楽文化に関心をもち歌唱、楽器、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	ハーモニーをもって豊かな声で歌いあげよう	【歌唱】 ・ハナミズキ ・イエスタデイワンスモア ・涙そうそう ・糸	c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート
	ギターアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ・グリーンスリーブス	c:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、アンサンブルで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律と和音の特徴を知り、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、を生かして表現を工夫している。 a:アンサンブルするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート
	鑑賞のステップアップ	【鑑賞】 Beatles を聴こう	c:音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて解釈し、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

後期	日本の楽曲、楽器にふれよう。	【器楽】 さくらさくら ほたるこい	a:和楽器の音色、奏法の特徴を生かして演奏する。 b:日本の伝統音楽における楽器の音色特徴を表現上の効果とのかかわりを感じ取り鑑賞させる。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート
	ギターで弾き語りに挑戦してみよう	【器楽】 指定された曲の中から選ぶ	c:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:声の音色と表現上の効果との関わりを知り、感受し、総合芸術として素晴らしさとその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、コンサートに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞させる。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート
	コンサートを企画しよう	【歌唱・器楽】 好きな楽曲を選ぶ	c:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:各パートの役割や音の重なりなど理解し、全体の調和を意識しながら表現意図をもって創意工夫させる。 a:音楽表現に必要な諸要素を理解し、それらを生かして表現するために必要な技能を身に付けさせる。 b:声の音色と表現上の効果との関わりを知り、感受し、総合芸術として素晴らしさとその演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、コンサートに対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞させる。	・観察 ・演奏の聴き取り	・ワークシート	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度